



このプロジェクトに  
参加しませんか？

畜産生産者・加工業者・分析研究機関・行政などが共同して取り組んでいます。



九州地域バイオクラスター推進協議会  
Kyushu Bio Cluster Conference



九州地域バイオクラスター推進協議会(KBCC)は、食品の機能性に着目し発足した産学官連携のための団体です。九州7県の様々な素材・技術・人をつなぐ安全・安心なフード・アイランド九州の実現を目指しています。ヘルシーファーミングプロジェクトは、この活動の中で海外と連携したり取り組みです。

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-10  
(公益財団法人くまもと産業支援財団)

産学連携推進センターバイオクラスター推進室

TEL 096-289-3116 FAX 096-286-3929

E-mail [info@kyushu-bio.jp](mailto:info@kyushu-bio.jp)

URL <http://french-omega3.com/>

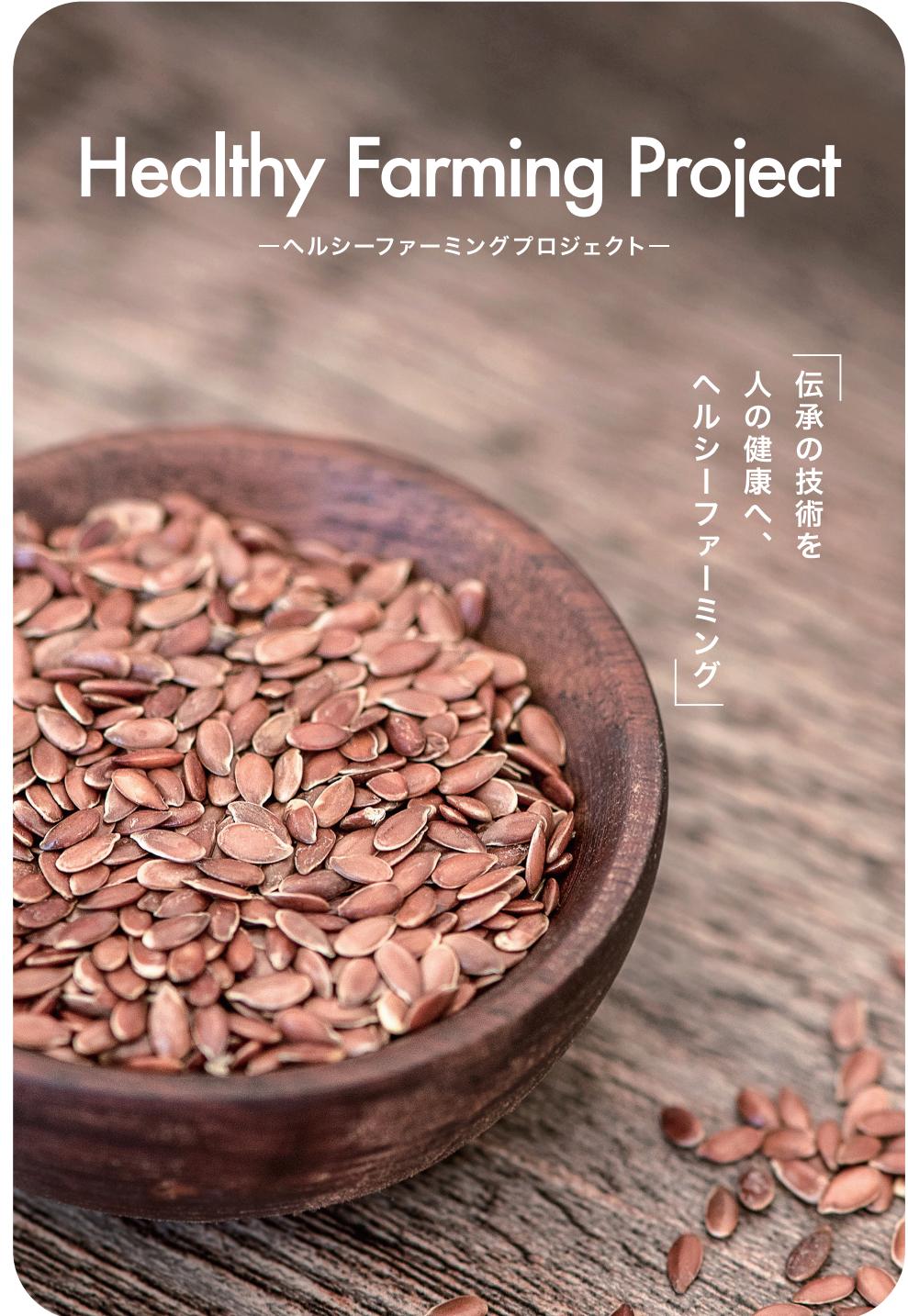


ヘルシーファーミング

# Healthy Farming Project

—ヘルシーファーミングプロジェクト—

伝承の技術を  
人の健康へ、  
ヘルシーファーミング



# バランスのとれた 飼料を家畜に。 美味しいつながる人の健康

ヘルシーフアーミングプロジェクトは、「生産者から消費者までの過程を考えることで、健康のための食材を提供する農業を発展させよう」という、フランス、Bleu-Blanc-Coeur協会(以下BBC協会)のコンセプトに基づき、美味しいくてバランスの良い食品づくりを目指した取り組みです。

## 動物の健康から 人の健康へ、 美味しい食品づくり

BBC協会が、亜麻の含有機能性成分である「オメガ3」にいち早く着目。

「オメガ3を含んだ飼料を与えることで、家畜が健康となり、より良い畜産物生産につながる」というコンセプトに賛同しています。

## オメガ3を 豊富に含む フランス産亜麻飼料

フランスでは古くから、亜麻を食べさせた牛のミルクが美味しいなどとの伝承がありました。

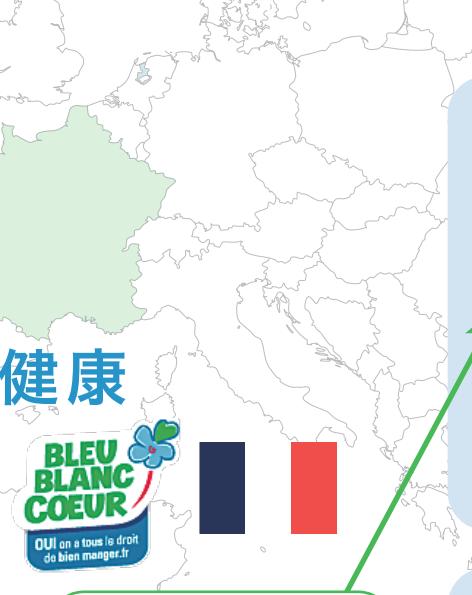
BBC協会は、この餌の効果を科学的に検証するため、数多くの研究を続けてきました。

## ヘルシーフアーミングの3つの取り組み

その1 フランス産亜麻種子由来のオメガ3含有飼料を家畜に与え、動物の健康に配慮しています。

その2 オメガ3含有飼料の給餌方法と、商品へのオメガ3含有量を管理しています。

その3 定期的な分析管理を行い、商品の付加価値の維持に取り組んでいます。



## 日本でも、同じ思いで ヘルシーフアーミング

健全な家畜生産を行いたいのは、日本の生産者も同じでした。コンセプトに共感した日本の生産者が、BBC協会との交流から、日本の飼育環境にあった亜麻飼料の利用に取り組みました。

オメガ3を指標に、美味しい食べべてもらえる畜産物やそれを利用した加工品が生まれています。

## 家畜の健康から考える

研究で注目したのは、亜麻種子に含まれるオメガ3という脂肪酸。まず、オメガ3を与えた家畜が健康になる事について研究が行われ、投薬などの回数も減るなどの効果が明らかになりました。

また、その畜産物の成分がどのように変化するかの研究も進み、最終的にそれを食べる「人」との関連についても研究が行われ、「食物連鎖を通して、人の健康を考える」BBC協会のコンセプトが誕生しました。



## 01. BBC協会とは？

フランス北西部の広大な農業地帯であるブルターニュ地方で、2000年に設立したのがBBC協会です。

健康と食品の関係に着目した科学研究を行い、多くの論文を発表しています。

現在、フランスではBBC協会の理念に共感する生産者が拡大しており、その商品は1000種類を超えていました。

また、フランス以外に10カ国と連携しています。



## 02. オメガ3とは？

人間が体内で作り出すことができないαリノレン酸(ALA)、エイコサペンタエン酸(EPA)、ドコサヘキサエン酸(DHA)などの脂肪酸の総称です。

植物では亜麻、くるみ、えごま、動物では青魚などから摂取でき、さまざまな効果が期待され注目されています。

- 脳の健康維持(うつ症状の緩和など)
- 心血管疾患のリスク低減
- 血中中性脂肪低下作用 他

(消費者庁「食品の機能性評価モデル事業」の結果報告参照)



n-3系脂肪酸=オメガ3で、健康バランスを整えよう！

## 03. プロジェクト活動

私たちは、これまでの交流で培った信頼関係をもとに、フランスと連携し、畜産生産者・加工業者・分析研究機関・行政などが共同してプロジェクトに取り組んでいます。

個性的な生産者、魅力的な畜産物やその加工品を産学官で支え、広報活動などを通じて販路拡大のお手伝いにも取り組んでいきます。

